

## 令和5年度LINKSにじいろ保育園自己評価

保護者アンケートを実施するとともに保育園での自己評価を実施しました。

保育の質の向上を図っていくことは保育所の責務であります。これからもより一層保育理念・保育方針・保育目標等を共通理解し、全職員が心を一つにして研鑽にはげみ保護者の皆様と一緒にお子さまの健全なる成長に関わってまいります。

### 評価について

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

Aーよくできている Bーできている Cー努力している Dー改善が必要

### 評価対象期間

令和5年4月1日から令和6年2月28日

評価者 園長 中牧 利恵子

評価責任者 代表 山崎 一浩



自己評価の観点	評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について	
①保育理念,園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	A
2. 保育について	
①一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A
②年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A
③園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している	A
④気候や子どもの活動に合わせ、温度・湿度・換気・照度など配慮している	A
⑤子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A
⑥それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A
⑦保育についての話し合いをよくしている	A
⑧保育士自身が楽しんで保育をしている	A
⑨それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B
3. 健康管理について	
①日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A
②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A
③乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A
4. 行事について	
①行事の種類や実施回数は適切である	A
②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A
5. 食育について	
①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A
6. 運営について	
①園長や職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A
②各種会議を適切かつ効率的に進めている	B
③打ち合わせ回数、時間、内容は適切である	A
7. 保健・安全指導員について	
①避難訓練を計画に基づいて適切に実施している	A
②事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A
③室内の衛生等の清掃に心がけ気持ちの良い環境に心がけている	A
8. 研修について	
①実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A
②園外研修への参加態勢の充実を図っている	A
③研修報告を園内で実施している	B
9. 情報について	
①園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A
②園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A
10. 設備について	
①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A
②掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A
11. 保護者支援について	
①子どもの送迎時に子どもの様子を伝え合うようにしている	A
②フリー参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	B
12. 開かれた保育所づくりについて	
①職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A
②医療機関等、専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B
③来客や地域の方に明るく挨拶をしている	B
13. 情報発信	
①園だより、クラスだより、ホームページ等で情報発信に努めている	A

## 評価のまとめ(反省・課題・改善点)

●保育士の自己評価と園としての自己評価を総合して、「ほぼできている」という評価になった。子ども達の安全に配慮し、一人一人を大切にされた保育を行えた。

しかしながら、園・保育士ともに現状に満足しているわけではなく、反省・改善点を感じており、各自が目標・課題を持って引き続き保育を行いたいと考えている。

●園運営に対する保護者の理解得ていき、TCTなどを活用して今後も園での様子をわかりやすく伝え、気軽に相談しやすい雰囲気を作りより良い保育ができるよう取り組みたい。

●当園時の視診、検温、保護者への聞き取り、連絡帳などで体調や怪我を把握し、職員間で報告し合い、対応できるようにしている。

●子どもの人権を考慮し、文化・環境・生活習慣・考え方などの違いを認め、互いに尊重する心が育つよう工夫している。

●新型コロナウイルス感染防止対策のために玄関・各入口などに消毒用のボトル設置により、手指消毒が習慣になった。今後も続けていこうと考えている。

●玩具の消毒、室内の換気、湿度、温度などに配慮し、子どもたちが気持ちよく、また、感染症などが流行しないよう、衛生面にも心がけている。

●子どもの人権に配慮し、文化・環境・生活習慣・考え方などの違いを認め、お互いを尊重する心が育つよう関わっている。

●研修等で学んだ知識やその他の機関での情報収集に努め、職員全員に水平展開している。

●保護者の意見箱が玄関に設置されている。定期的に利用者アンケートを実施し、意見が述べられるようにしている。

●当園が、自己評価の取組を基盤に、第三者評価など外部評価を受けることは、評価に客観性を増し、保育所の説明責任をより一層適切に果たすことつながると考えていることから、今後も検討していきたい。

●引き続きタイムリーなホームページや内容のリニューアルなどを行い、情報発信に務めていく。